

松前町学校保健会だより 第九十号

発行／松前町教育委員会 編集／松前町学校保健会

健やかな成長を願って

松前町学校保健会長

樋口 幸男

平素から、松前町学校保健会の活動推進に対して、多くの皆さまのご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

当会は松前町小中一貫型小学校・中学校「松前学園」と、松前高等学校の学校保健の振興を図ることを目的に活動を行っております。「心身ともにたくましい子どもを育てる」を重点目標にして、学校医や学校歯科医、学校薬剤師、行政機関、教職員が委員として活動を行っています。

学校においては2年間にわたり、新型コロナウイルス感染症の対策に取り組んできました。子どもたちは教室などの換気や手洗い、消毒が習慣化し、主体的に

衛生管理に取り組んでいます。

また、松前学園全4校に「スクールサポートスタッフ」が配置され、専門スタッフが校舎内の消毒作業を毎日実施し、子どもたちに安心感を与えています。

今年度は感染症対策のほかに、子どもたちの「心」にも視点をあてた研究を進めています。心理学の専門家などと連携し、松前町の児童生徒が健やかに成長できるような活動をしておりま

す。今後も皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

なお、本号では松前学園から、小島小学校と松城小学校の担当者より、各校の学校保健に関する取組を紹介いたします。

小島小学校

11月18日に樋口幸男歯科校医を講師に迎え、全校児童を対象に歯科健康教室を行いました。

自分の口の中はどんな状態なのかを確認し、虫歯や歯肉炎を予防するためのブラッシング方法や歯肉炎が脳や心臓の病気に繋がることがあると教えてもらい、改めて歯みがきの必要性について学びました。

松城小学校

11月25・26日に笹森博和歯科校医を講師に迎え、全校児童を対象に歯科健康教室を行いました。

講話では、歯垢がついている歯の見つけ方や歯肉炎についてのお話、歯ブラシの持ち方や磨く強さ・時間・順番など正しい歯磨きのポイントを教えていただきました。子どもたちは「はかり」を用いて磨くときの力の強

子どもたちからは「歯肉炎がこんなに怖い病気だとは思ってはいなかった。これからは歯みがきを丁寧にします」などの感想が多く聞かれました。

年1回の歯科健康教室ですが、子どもたちが専門的な話を聞き、歯みがきの大切さについて実感できる良い機会になっています。

さを確認した後、歯列模型で磨き残しの多い部位を磨く体験をしました。

子どもたちからは「いつもの歯磨きは力を入れ過ぎていた、これから気を付けたい」といった感想が聞かれました。

今年度も感染症対策のため、実際に自分の歯を磨くことはできませんでしたが、歯垢の染め出し液を持ち帰り、自宅で歯垢の確認をすることができました。

